

事業実績書

事業名		創作竹箸工房「MARIKOの家」季節を掬う素麺箸の展示会
場所		沼津市内浦重寺 208-15
期間		令和 8 年 4 月 1 3 日 ~ 令和 8 年 7 月 3 1 日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	4月13日から6月4日	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) ・事務所の展示スペース等の改装検討～資材調達・実施・作品制作（山口） ・実施スケジュール ・はがき・チラシ作成（杉並） ・知人や企業などに販路開拓の営業活動・SNS作成（山口・杉並） ・沼津朝日新聞に広告手配・チラシ配布など広報開始（山口・杉並） ・展示会場ディスプレイ（山口・杉並）
	展示5日から21日迄 22日から7月31日	・展示会開始～接客・応対（山口） ・13日ワークショップ8人参加（山口・杉並） ・20日ワークショップ4人参加（山口） ・展示会の反省と今後の検討（山口・杉並） ・報告書等、事務処理（山口・杉並） 展示会では地域資産の竹を使い、意匠と実用性の用の美を兼ね備えたさまざまな用途の箸の提案やワークショップを通して、箸への見直しと身近さを認識する機会を提供。 今後も、日々の食事で使うものだから、ギャラリーで箸に触れ、手に合った重さや長さを体感し、手に馴染む箸で【食】の新たな愉しみを見出すきっかけとなり、箸の普及と次世代に箸の良さを継承する役目を果たしたい。 また、地域の作家の発表の場とし、関係人口を増やすことで内浦地区の活性化、文化を求める人の居場所となることを目指している。
事業効果		※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。 来廊者は期間中で40人程。 知人関係などが主だったが、新規の方は3割程。 周知方法は、チラシ設置を含め、企業や店舗、広告など5社程度。 知人には、郵送や手渡しで展示会やワークショップを周知。 ギャラリーで用途に合った箸の多彩さや手に馴染む心地よさを体感して、改めて箸の長所を見直し、箸を身近に感じる機会を創出できた。 ワークショップは、各1回ずつ2日間に分けて実施。計12人が参加。 箸を制作することで、成形の難しさや愛着などを実感し、 いつも何気なく使っている箸の存在感を見直したようだった。

自己評価	※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。 ・展示や箸の制作を通じ、箸を考える機会になり、価値が向上したと思う。 ・ギャラリーを開設し、初めての展示だったので、どうなるか不安だった。 ・広報なども周知しきれなかったことが反省点。 ・ギャラリーの存在が微力ながら、竹の素材特有のしなやかさを生かした箸のバリエーションや竹杓子など身近に使う日用品の使い勝手を提案。 ・「My 箸」の価値を広め、割箸などの使い捨て志向を考え直す契機になったと思う。
今後の活動予定	※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。 ・今後も地域の作家などを交え、定期的に展示会を開催予定。 ・作家の作品発表の場として、地域の文化の活動拠点となるよう尽力する。 ・ワークショップを定期的に関き、箸の文化の見直しと普及を図る。 ・来期はマチカツ支援事業にハード部門で応募し、 テラスを改装してワークショップスペースを確保して、 箸を身近に感じる場を創出して、文化の見直しと継承の場としたい。 ・竹の創作箸等を、ふるさと納税の返礼品としての認定を目指す。